

# 事務事業シート(実施計画事前基礎シート)

(H.25)No.	5042	(H.24)No.	5042
-----------	------	-----------	------

事務事業名	旧市民・観阿弥公園施設管理費		
担当部局名	担当室名	室長名	
教育委員会事務局	文化生涯学習室	高津 祥完	

会計区分	事業コード	502002
一般会計	(中事業名)	予算書事業名
款	教育費	文化施設管理費
項	社会教育費	(小事業名)
目	文化振興費	旧市民・観阿弥公園施設管理費

## 1. 事務事業の位置付け

総合計画	政策	4	心豊かな教育と文化に包まれた、ゆとりある暮らし
	基本政策	3	市民文化の創造
	施策	1	市民文化
	小施策	2	文化施設の充実
重点施策コード			

## 2. 事務事業の概要

事業目的(めざす効果)
文化施設の維持管理とともに活用を図ることを目的としています。
事業内容
旧総合市民会館(現在、郷土資料室、青少年補導センター、さくら教室、名張文化協会として使用中)と観阿弥ふるさと公園の維持管理

## 3. 総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

	H.24年度(事業量・取組実績)	H.25年度(事業量・取組計画)	H.26年度(事業計画)	H.27年度(事業計画)	H.28年度(事業計画)
主な事業の実績・計画	桜ヶ丘に立地する旧総合市民会館と小波田にある観阿弥ふるさと公園の維持管理を行いました。 事業的には文化財施設管理費と内容が類似するため、25年度以降は施設管理の一本化として、文化財施設管理費に統合します。 需用費 1,150千円 役務費 3千円 委託料 596千円 使用料 240千円 原材料費 8千円	「No.5043文化施設管理費」に統合			

	H.24年度(決算見込)	H.25年度(作成時予算額)	H.26年度(計画予算)	H.27年度(計画予算)	H.28年度(計画予算)
<b>直接事業費</b>	<b>1,997千円</b>				
内訳(千円)					
国・県支出金					
地方債					
その他(諸収入)	17				
一般財源	(0) 1,980	0	0	0	0
人工数					
職員	0.30人	0.00人			
臨時職員等	0.10人				
<b>概算人件費</b>	<b>(0千円) 2,480千円</b>	<b>0千円</b>	<b>0千円</b>	<b>0千円</b>	<b>0千円</b>
<b>+ 総事業費</b>	<b>(0千円) 4,477千円</b>	<b>0千円</b>	<b>0千円</b>	<b>0千円</b>	<b>0千円</b>

## 4. 担当室による事務事業の点検 (\*点検等による成果向上や見直しが困難な事業(法令等による義務的経費、災害復旧等緊急事業など)は点検対象外)

考察(H.24年度の取組評価、課題)	今後の対応方針(課題解決への取組、工夫・改善の内容)
旧総合市民会館と観阿弥ふるさと公園の維持管理経費となりますが、旧総合市民会館は、平成25年度より補導センター、さくら教室が百合が丘の教育センター内へ移動をするため、倉庫的な役割が大きい施設となり、整備計画の策定が急務となっています。	旧総合市民会館については、施設が老朽化しており今後の利活用を含めて、あり方を検討していく予定です。

点検項目	内容(施策達成への貢献内容、連携・協働の実践・検討内容)
(1) 事業内容や取組成果は、総合計画の施策達成に貢献しているか B(いずれかの施策指標達成に貢献又は基本方針達成に貢献)	観阿弥ふるさと公園で、観阿弥祭(11月第1日曜日)を行うなど、伝統文化の伝承・発展を図りました。
(2) 地域づくり組織、市民活動団体等との連携・協働は図れないか 検討している・今後可能性がある( 検討内容を記載 )	施設全般にわたり、それぞれ立地する地域の地域づくり組織と、連携して事業を進めます。

## 5. 今後の方向性(担当室による内部評価)

[選択肢] 継続(改善)、継続(現行)、継続(拡大)、継続(縮小)、統合検討、休止検討、廃止検討、事業完了(予定含む)	統合検討
具体的な見直し内容・検討内容、継続の理由	6. 事務事業の取組に関する主な市の計画
平成25年度より「No.5043文化施設管理費」に統合しました。施設管理を一本化し、より効果・効率的に、文化財施設管理を行います。	